

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公表特許公報 (A)

(11) 特許出願公表番号

特表平7-506503

第1部門第2区分

(43) 公表日 平成7年(1995)7月20日

(51) Int.Cl.⁹

B 2 6 B 21/18

識別記号

庁内整理番号

FI

9029-3C

審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全7頁)

(21) 出願番号 特願平5-518846
 (86) (22) 出願日 平成5年(1993)4月23日
 (85) 翻訳文提出日 平成6年(1994)10月24日
 (86) 国際出願番号 PCT/DK93/00137
 (87) 国際公開番号 WO93/22112
 (87) 国際公開日 平成5年(1993)11月11日
 (31) 優先権主張番号 0538/92
 (32) 優先日 1992年4月27日
 (33) 優先権主張国 デンマーク (DK)

(71) 出願人 ワーナー・ランバート・カンパニー
 アメリカ合衆国ニュージャージー州07950,
 モーリス・ブレインズ, テーパー・ロード
 201
 (72) 発明者 ベデルセン, イェッテ・ポールディング
 デンマーク国デーカ—6600 ヴェイエ
 ン, ラングスコヴェイ 10
 (74) 代理人 弁理士 漢渡 恭三 (外5名)

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 安全カミソリ

(57) 【要約】

ひげそり装置は、前縁部材と後縁部材とを収容するカートリッジを有する。刃部材の双方は、前方切断縁及び後方切断縁を有する。カートリッジは、後方の切断縁を使用することができるように反転することができる。

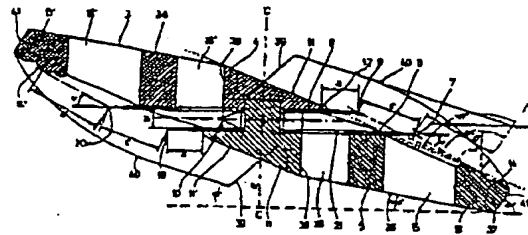


図 解 の 説 明

1. ハンドルと、固定可能な刃のカセット(3)を取り付けるカセットホルダ(2)とを有し、刃のカセット(3)は、キャップ部分(4)と基部部分(5)とを有し、これらの間に2つの切断線(7)及び(9)を有する長い2つのカミソリ刃(6)及び(8)がしっかりと取り付けられ、前記キャップ部分(4)は、2つの切断線(7)及び(9)を通る平面より低い水準に配置された接触面(11)と、前記2つの切断線の内側の後方の切断線(8)の位置からわずかに後退した前線(12)とを有し、基部部分(5)が前方の切断線(7)の前方に突出しており、その前側に、長手方向線部、若しくは当接部(14)を有し、前記長手方向線部、若しくは当接部は、その頂部に波形の接触面(14)を備えており、前記接触面(14)は、2つの切断線(7)及び(9)を通る平面より低い水準に配置されており、当接部の背後に、第1刃目の切り出し部(15)及び第2刃目の切り出し部(21)を有する前方の刃(6)及び後方の刃(8)が配置されており、前記前方の刃(6)及び後方の刃(8)は、2つの切断線(7)及び(9)の間が相互間隔(c)に、切断線(7)と接触面(14)の第1の接触部との間の距離が(d)に、切断線(7)と接触面(14)の第1の接触部との間の接触ラインとの角度が(v)に、スペース(10)によって相互間隔(d)になるように取り付けられている安全カミソリにおいて、2つの刃(6)及び(8)は、2つの切断線(7)及び(9)に対向する側、さらに2つの切断線(19)及び(20)を有し、接触面(11)及び(14)、距離(a, c, d)、角度(v)及び切り出し部(15)及び(21)によって規定される他の2つの切断線(19)及び(20)を有する刃のカセットの形状は、2つの切断線(7)及び(9)のカセットの形状と同一であり、2つの刃(6)及び(8)は、同じ構造であるが、後方の刃(8)は、前方の刃(6)に関して180°回転した位置で取り付けられ、基部部分(5)は、当接部(13)の反対側にキャップ部分(4)の各穴に適合する2つの同様なダブ(24)及びキャップ部分(4)のダブ(24)に適合する2つの穴(25)を有し、前記2つのダブ(24)は、2つの刃(6, 8)及びスペース(10)の穴(26)及び(27)を通り、キャップ部分(4)は、基部部分(5)として製造されるが、基部部分(5)に関して180°

の刃のカセット(3)の基部部分(5)及びキャップ部分(4)の切り出し部の後方線部(38)で終結しており、前記位置は、刃のカセットをカセットホルダ(2)の所定の位置に固定するのに使用されることを特徴とする請求項1に記載の安全カミソリ。

4. 基部部分(46)は、基部部分(5)またはキャップ部分(4)に係合することができるダブ(49)を具備することを特徴とする請求項1に記載の安全カミソリ。

回転した位置に取り付けられており、組み合わされた装置は、刃のカセット、すなわちキャップ部分(4)、後方の刃(8)、スペース(10)、前方の刃(6)及び基部部分(5)の組立体を形成し、刃のカセット(3)は、外側係合面を備えており、カセットホルダ(2)は、刃のカセット(3)をカセットホルダ(2)に固定された第1の位置に及び前記第1の位置に関して中央軸(O)の周りに180°回転した第2の位置に保持することができる内側の側面を備え、第2の位置において2つの刃(6)及び(8)は、第1の位置と関係のハンドルと所定の角度を形成することを特徴とする安全カミソリ。

2. 各基部部分(5)及びキャップ部分(4)は、基部部分(22)を有し、基部部分(22)は、2つの部品を回転して組み立てる部であって、刃のカセットの内側に係合部(33)を有し、係合部(33)は、一方の部分にダブ(34)を備え、他端に切り出し部、若しくは基部(35)を備え、このダブ(34)及び切り出し部(35)は、キャップ部分(4)のダブ(34)が、基部部分(5)の切り出し部(35)に係合して固定され及び反転され、その位置でキャップ部分(4)の係合部(33)が基部部分の係合部(33)と接触するように製造され配置されることを特徴とする請求項1に記載の安全カミソリ。

3. 基部部分(5)の基部が、1つの係合部(36)を有し、前記係合部(36)は、当接部(13)の下縁(37)から切り出し部(16)の接触(38)に広がっており、係合部(36)は、そこから、他の前方の切断線(19)に向かって傾斜して、ある距離で終結している1つの接触面(11)に隣接しており、係合部(36)及び接触面(11)の一部は、刃のカセットを通る中央ライン(c)に、さらに基部部分(32)の下側に隠かれ、接触面(11)と連続している第1の第1の係合部(39)と、前記した第2の係合部(40)とを有し、カセットホルダ(2)は、係合部(36)に係合する内側の側面(42)と、刃のカセットの他の係合面に合致する下方の前部(43)と、刃のカセットの第1の係合部(39)に合致する前方の側面(44)と、刃のカセット(3)を側方からカセットホルダに押すことができる当接部(13)の背面に製造される係合部(41)に合致する後方の側面(45)と、カセットホルダの基部部分(46)及び基部部分(47)は、カセットホルダ(2)に取り付けられた刃

明 細 書
安全カミソリ

本発明は、請求項1のブレインブルで述べた種類の安全カミソリに関する。このような安全カミソリは、DK (Dessert) ブレイブ No. 144460号及び米国特許第3788563号の発明から公知である。

従来の安全カミソリは、一方の側に切断線をもつだけ有するカミソリ刃を使用するように設計されている点に欠点であり、このことは刃のカセットを時々交換しなければならぬことを意味する。さらに、すべての従来の安全カミソリは、刃の構造を有している。

本発明は、カミソリ刃が、両側に1つの切断線と、カセットホルダの内側で固定することができる刃のカセットとを備えており、従って、刃のカセットは、従来の安全カミソリに比べて2倍の寿命を有する、投入部で述べた種類の安全カミソリを提供する。

本発明によれば、この目的は、投入部で述べた安全カミソリが請求項1で述べたブレインブルに関して独特であるという事項を通して達成される。

これによって安全カミソリのさらに簡便な構造を達成することができ、製造コストの低減を促すことができる。

請求項2は、刃のカセットのキャップ部分を基部部分に固定する特許の固定装置に関する。

請求項3は、外側係合面を有する刃のカセットと内側の側面を有するカセットホルダの双方の特許の構造に關し、それによって、刃のカセットをカセットホルダでしっかりと固定することができる。

請求項4は、カセットホルダに比例した所定の位置に刃のカセットを固定することができる特定の装置に関する。

次の図面を参照して本発明の詳細な説明を行う。

第1図は、カセットホルダに刃のカセットを取り付けた本発明に関する安全カミソリの断面図である。

第2図は、第1図に示す安全カミソリ用のカセットホルダを拡大して示す斜視図である。

第3図は、本発明に関する安全カミソリの刃のカセットを拡大して示す斜視図である。

第4図は、刃のカセットの分解図である。

第5図は、刃のカセットの後面図である。

第6図は、刃のカセットの前面図である。

第7図は、本発明に関する安全カミソリのカセットホルダを通る断面図である。

第8図は、刃のカセットを取り付けたカセットホルダを通る断面図である。

第1図から分かるように、安全カミソリは、ハンドル1を有し、このハンドル1は、その前部の端部のカセットホルダ2に回転可能な刃のカセット3が取り付けられている。

第4図及び第6図を参照すると、刃のカセット3は、キャップ部分4と台部分5とを有する。キャップ部分4と台部分5との間に前方に切斷線を有する長いかみそり刃6を有し、その後ろにそれと平行に、その背面に切斷線を有する短いかみそり刃8が取り付けられている。刃は、スペース10で、例えば、0.5mmの相互距離を介して保持されている。本体部分4は、ひげそりに応じて接触する接触面11を有するように設計される。接触面11の前後は、刃8の端部9と比較して例えば0.63mmだけ後ろに後退している。接触面11は、切斷線7及び9を通る平面より低い水準に配置されており、例えば、刃8の平面と23°の角度を形成している。刃8の切斷線7の前方に突出しており、その前方に、長手方向の線部または出っ張り13を有し、その端部に放射状の接触面14を備えており、その接触面14は、ひげそりに応じて接触するようにになっている。また接触面14は、切斷線7及び9を通る平面の水準より低い水準に配置されている。当接部13の後方には、第1列目の切り出し部15を有し、そこからある距離隔れて第2列目の切り出し部16がある台部分5を有する。切り出し部15及び16は、長手方向の線部17によって分離されており、また、線部18によって横方向に分離されている。

刃6及び8は、切斷線7及び9の間で相互距離c、例えば1.0mmだけ離れた位置に配置されており、線部7と接触面14の第1の放射部分との間で相互距離d、例えば1.20mmだけ離れて配置されている。さらに、刃6及び8は、

dは、線部の双方の端で同一である。

2つの刃6及び8は、一般に設計であり、刃8は、刃に比例して180°回転した位置で刃のカセットに取り付けられている。

キャップ部分4は、台部分5として設計されるが、大部分5に比例して180°回転して刃ブレードカセット3に取り付けられている。

台部分5及びキャップ部分4は、その両端に端部部分32を有する。各端部部分32は、組み立てた刃のカセットの内側に、互いに関して反対した向きに係合面33を有する。また、端部部分は、一端にダボ34を有し、他端部に切り出し部または溝部35を有する。

刃のカセットの組み立て中に、キャップ部分4の2つのダボ34は、台部分5の2つの切り出し部35と係合して固定され、台部分5の2つのダボ34は、キャップ部分の2つの切り出し部35と係合して固定され、その状態で両端部分32の2つの係合面33が合致する。

第8、7及び8図から分かるように、刃のカセット3は、係合面を有するように製造され、カセットホルダは、カセットホルダ3を保持し、第1の位置並びにカセットの中央軸の周りに180°の回転した他の位置を規定するように製造された内側側面を具備しており、これは、刃6及び8が最初に述べた位置と同じ角度を形成することを意味する。

台部分5を参照すると、製造した係合面は、当接面13の下段87から、例えば、切り出し部16の後縁部88まで広がる第1の係合面36を有し、図面36は、そこから接触面11に達し、そこから中心線C-Cまで続く。係合面は、図面39及び図面40に続いて、その双方は端部部分32に形成される。円筒の係合面がキャップ部分4の両側面に見られる。当接部13の前方側は、追加の係合面41を具備している。

カセットホルダは、係合面に合致する、内側の上方の側面42と、2つの端部部分32の係合面40に合致する下側の側面43の双方を有する。前方において、側面43は、前方の側面44に連続し、係合面39に合致し、その背後で、係合面41に合致する後方の側面45に続いていく。

カセットホルダの端部部分46及び端部部分47は、それらが、カセットホル

ダ7と接触面14の第1の放射部の端部を通る平面とある角度α、例えば31°の角度を形成するように取り付けられている。カセットホルダ2は、ハンドル1に折り合うように配置され、また、刃のカセット3は、刃6及び8とハンドルが、所定の角度、例えば65°の角度を形成するように配置する。

線部7の背後に、一列目の切り出し部21を備えた刃8があり、この切り出し部21は、刃のカセット3に取り付けられたときに、台部分5の第2列目の切り出し部16と整合し、切斷線9からひげそりのくずを通過させることができるようにする。ひげそりくずは、台部分5の第1列目の切り出し部15を通過して線部7から放出される。

刃6において、第1列目の切り出し部22を備えた刃8の切り出し部21が配置されており、その各々に、切り出し部22と同一の断面形状を備えたダボ23が適用されるようになっている。これらのダボ23は、長手方向の線部17に配置される。

台部分5の切り出し部16の背後で、この線部は、例えば、2つのダボ24及び2つの穴25を有する。キャップ部分4は、ダボ24と同じ水準に穴25を、穴25の水準にダボ24を有する。刃6及び刃8及びスペース10は、穴26及び27を有するように製造され、刃のカセットの組み立て中に、その中にダボ24が入れられる。キャップ部分4、刃8、スペース10、刃6及び台部分5は、カセットの組み立て中にダボ24によって精密に相対位置に配置される。

刃6は、線部7の反対側の長い距離に他の線部19を具備しており、刃8は、線部9に対向する側に他の線部20を具備している。

スペース10は、刃6及び8の切り出し部21の間に線部28と同じ水準の複数のフィンガ部を有し、これらの各々は、刃8への上方接触面と、刃6への下方接触面とを有する。

切斷線19及び20に隣する接触面11'及び14'は、接触面11及び14及び刃6及び8との間に存在するものと同じ角度に製造されるように設計されている。切り出し部15'及び16'は、切り出し部15及び16と同じように製造され、それらは、切り出し部15及び16及び線部7及び9との間に存在するような線部19及び20の相互位置に配置されている。さらに、距離α、c及び

ダ2に取り付けられた刃のカセット3において、台部分5とキャップ部分4の切り出し部18の後縁部38によって形成されるように位置される。端部部分47は、前方の先端部と連続し、線部の部分の端部48は、接触面11'と同じ位置を有する。図示したように、端部部分46は、ダボ49を具備しており、このダボ49は、台部分5の穴50と、キャップ部分4の穴50に係合し、刃のカセットを所定位置に固定する。

図示し及び説明した安全カミソリは本発明の一例である。本発明の範囲で他の設計及び製造を進展させてもよい。係合面並びに側面は異なるように製造してもよい。

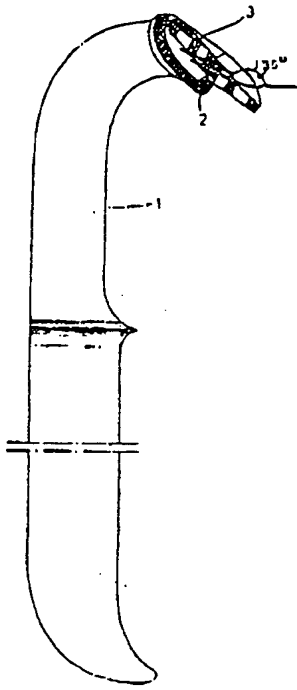


FIG 1

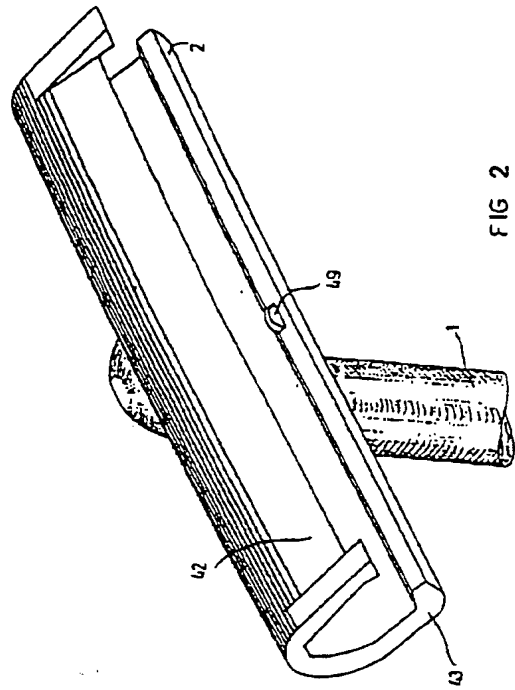


FIG 2

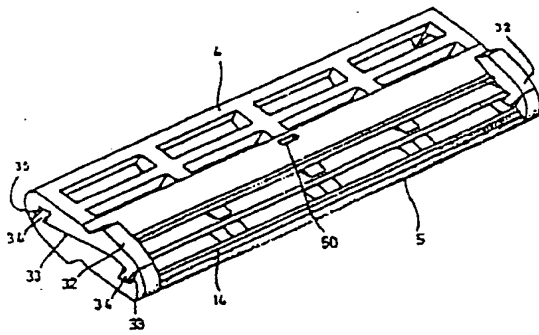


FIG 3

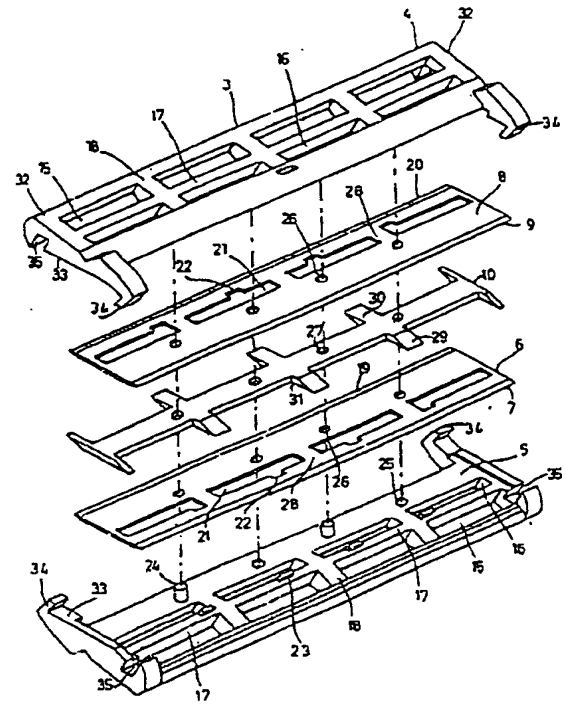


FIG 4

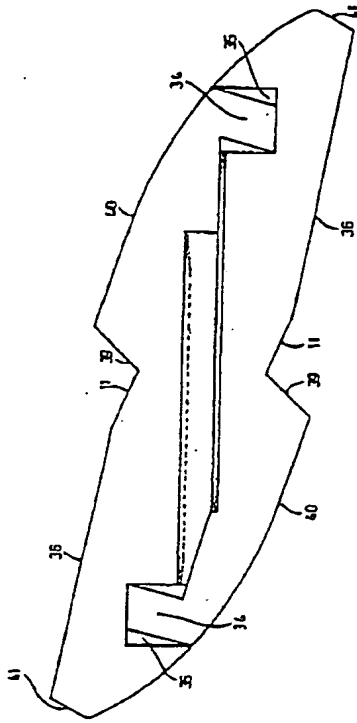


FIG 5

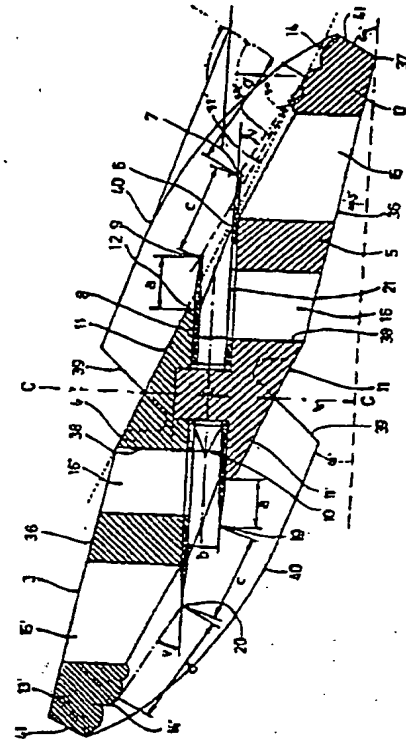


FIG 6

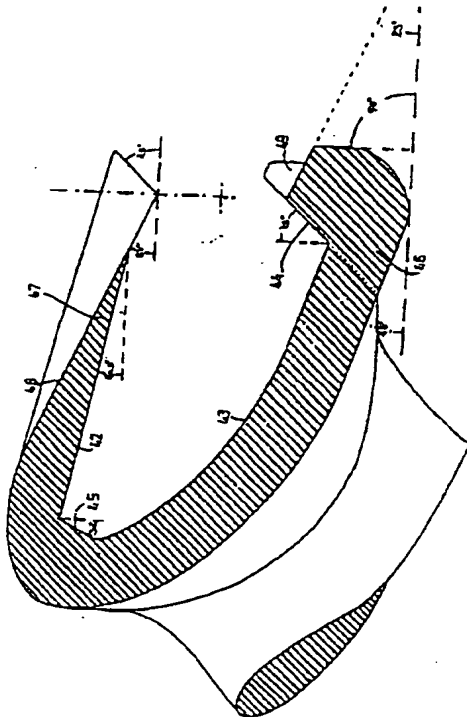


FIG 7

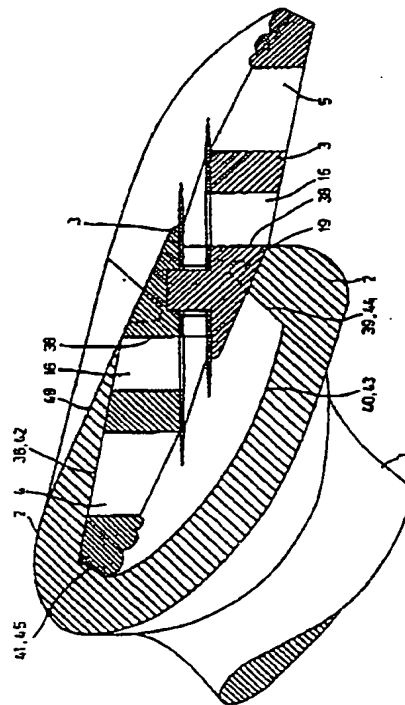


FIG 8

特 表 平 7-506503 (6)

[illegible]

- 6 -

フロントページの続き

(81) 指定国 EP(AT, BE, CH, DE,
DK, ES, FR, GB, GR, IE, IT, LU, M
C, NL, PT, SE), OA(BF, BJ, CF, CG
, CI, CM, GA, GN, ML, MR, NE, SN,
TD, TG), AT, AU, BB, BG, BR, CA,
CH, CZ, DE, DK, ES, FI, GB, HU, J
P, KP, KR, LK, LU, MG, MN, MW, NL
, NO, NZ, PL, PT, RO, RU, SD, SE,
SK, UA, US